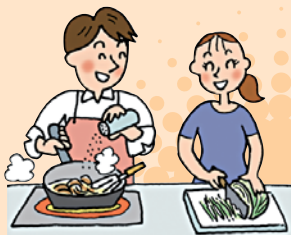


男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、性別に関わりなく、互いに人権を尊重しその個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。

無意識のうちに「男だから」「女だから」という理由で、何かをあきらめたりしてはいたいでしょうか？性別によって生き方や人生の選択に制限を及ぼし、一人ひとりの個性を發揮する機会を奪うことがあっては問題です。

男女共同参画の実現のためには、「男だからこうすべき、女だからこうあるべき」といった性別で固定的に役割を決めてしまう意識に気づくことが大切で、その意識を社会全体で見直していくことが必要です。



平成25年度(4月～8月)
うるま市男女共同参画の取組み

① 男女共同参画啓発講座

を開催しました！

うるま市では、男女の違いにとらわれずそれぞれの個性を輝かせながら、いきいきと暮らせる社会をめざして、男女ともに知ってためになる講座を開催しました。

◆◆◆ 5月30日(木) ◆◆◆

「男も女も輝く家事のススメ」

講師 神村 さゆり 氏



雑巾がけのレクチャーをする神村氏

◆◆◆ 6月29日(土) ◆◆◆

「みんなで考える

トートローメー継承」

講師 波平 エリ子 氏



分かりやすく解説する波平氏



みなさん真剣に聞き入っていました

② 男女共同参画週間 パネル展

6月23日～29日

テーマ『**紅一点じゃ、足りない**』

企画課共同参画係では、6月23日から29日までの1週間、「男女共同参画週間」を実施し、健康福祉センターうるみんにおいて、パネル展を開催しました。



女性団体連絡協議会の各団体の活動状況や、四コマ漫画、三行詩など男女共同参画に関するさまざまなパネルを展示しました

③ 男女共同参画に関する取材

パネル展の開催にともない、性別イメージが固定化しがちな職業に就き、頑張っている方々に取材をさせてもらい、お話を伺いました。

◆**できるかなあ？よりも「まず、一歩！」**

トラック運転手 西原^{にしはら}さん



「まず、一歩」踏み出そう！

子どもの頃から、大型車に興味があり、中学の時に女性のタンプカー運転手を見つけ、彼女のようになりたいと思ったのがきっかけです。自分が運んだ材料で、建物や道路ができる過程が確認でき、関わったという誇りを

感じることができます。

また、仕事内容から男女の差はないのでやりがいを感じます。興味のある女性は「できるかなあ？」ではなく「まず、一歩」踏み出ししてほしいです。

◆**地域の人の健康を支えたい!**

保健師 高宮城^{たかみやぎ}さん

大学の介護予防教室の体操指導を担当した際、緊張していた私に高齢者の方から「ありがと」と言われたことに感動し、それがきっかけで地域の人々の健康を支えることの大切さについて真剣に考えるようになりました。教室や健康相談などに関わった方が、地域で元気に暮らしているのを見るのが何よりうれしいです。



毎回新しい発見があります!!



◆仕事と子育ての両立ができます！

バス運転手 仲宗根 なかそね さん

高齢者や障がいをもつ方々などに、女性の運転手の方が安心を与えることがあると思うので、それがやりがいの一つです。安心して乗車してもらえような運転手をめざしています。今は、以前よりも働く環境が良くなっているのですが、仕事と子育ての両立ができるためもっと女性のバス運転手が増えたらいいなと思います。



仕事の大事なパートナーです♪



④男女共同参画推進条例(案)の諮問が行われました。

7月30日に「うるま市男女共同参画推進条例(案)の諮問が行われ、うるま市男女共同参画懇話会(池原トモ子会長)へ副市長より諮問書が手渡されました。

池原会長も「しっかりと審議し、すばらしい条例ができるよう努めていきたい。」と力強く述べていました。



諮問書を受け取る
池原トモ子会長

懇話会委員のみなさん



うるま市女性団体連絡協議会のご紹介



うるま市女性団体連絡協議会は、市内の10団体で構成されており、各種団体が相互の親睦を図り連携を保つとともに、女性の地位向上と豊かで明るい平和な男女共同参画社会づくりに寄与することを目的とし活動しております。特に次世代を担う子ども達のため、加盟団体が一堂に集い青少年健全育成のあり方を学ぶ研修、他市町村女性団体との交流や、「映画上映会」「市長と語るつどい」など多くの事業を展開しております。

【加盟団体】

- ①うるま市女性連合会
- ②うるま市赤十字奉仕団
- ③うるま市農漁村生活研究会
- ④うるま市母子寡婦福祉会
- ⑤うるま市商工会女性部
- ⑥JAおきなわ具志川支店女性部
- ⑦与那城町漁協女性部
- ⑧石川女性海外・国内研修生連絡協議会(虹の会)
- ⑨新日本婦人の会うるま支部
- ⑩うるま市ガールスカウト

* 相談窓口のご案内 *

ひとりで悩まずに、まずはご相談下さい

- **うるま市女性相談室** ☎973-5041
(月～金8:30～17:15 / 土日・祝祭日・年末年始休み)
- **うるま市児童家庭課相談室** ☎973-5041
(月～金8:30～17:15 / 土日・祝祭日・年末年始休み)
- **中部配偶者暴力相談支援センター** ☎938-9886
(月～金8:30～17:15 / 土日・祝祭日・年末年始休み)
- **よりそいホットライン** ☎0120-279-338(通話料無料)
(年中無休 / 24時間対応)
- **おきなわ子ども虐待ホットライン** ☎886-2900
(月～金17:30～8:30 / 土日・祝祭日は24時間受付)

うるま市女性人材リスト 登録者を募集中!!

うるま市では、男女共同参画社会の実現をめざし、より多くの女性の皆さまに政策や方針決定過程に参画していただくことを目的に女性人材リスト事業を実施しています。

まちづくりに積極的に貢献でき、各分野でご活躍される方々の登録をお待ちしています。

【お問合せ先】

うるま市役所企画課
☎973-5005



共に創ろう!一人ひとりの個性が輝くまち

◆◆うるま市男女共同参画都市宣言◆◆



太平洋の青い海 山の緑 豊かな美しい自然に恵まれた歴史と伝統文化のまち うるま市
わたしたちは、一人ひとりが互いをかけがえのない存在として認めあい、それぞれの個性や人権を尊重し、責任を分かちあい、共に健康で、平和な社会の実現をめざし、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 一、わたしたちは、互いに人権を尊重しあい、自立・平等の意識を育み、人にやさしくできる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、性別による固定的な役割分担の意識や慣習にとらわれず、みんなが参画できる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、家事、育児、介護の責任を共に担い、家庭、職場や地域で支え合う社会をめざします。
- 一、わたしたちは、あらゆる活動や意思決定の場に、男女が平等に参画できる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、世界の恒久平和を願い、民族や文化のちがいを理解し、共に生きる社会をめざします。

** 発刊にあたって **

男女共同参画社会を実現するためには、すべての人が社会の対等な構成員として、共に参画する機会や場を確保することが必要です。うるま市では、女性と男性が家庭や学校、職場、地域などあらゆる場で個性と能力を十分に発揮し、のびのびと生活できるまちづくりをめざしています。

この情報誌をとおして、地域に根ざした男女共同参画社会づくりを進め、男女お互いの人権尊重への理解を深めていただければと願っています。